178　塔　　**金剛三昧院　多宝塔　　一基**　　鎌倉時代（1223年）

三間多宝塔　桧皮葺

金剛三昧院は建暦元年（1211）源頼朝の菩提のため北条政子が創立した禅定院に始まるといい、承久元年（1219）に金剛三昧院と改めた。多宝塔は貞応2年（1223）に建立されたもので、石山寺のものに次いで古く、鎌倉初期の技法を示す貴重な建築である。
下層は角柱で組物は平三斗、上層は対照的に円柱で四手先組である。内部は四天柱内に仏壇を構え、柱、壁、長押などに彩色を施し、仏画が描かれている。

和歌山県伊都郡高野町高野山 425　　0736（56）3838
高野山駅からバス千手院橋下車徒歩約 5 分　境内自由